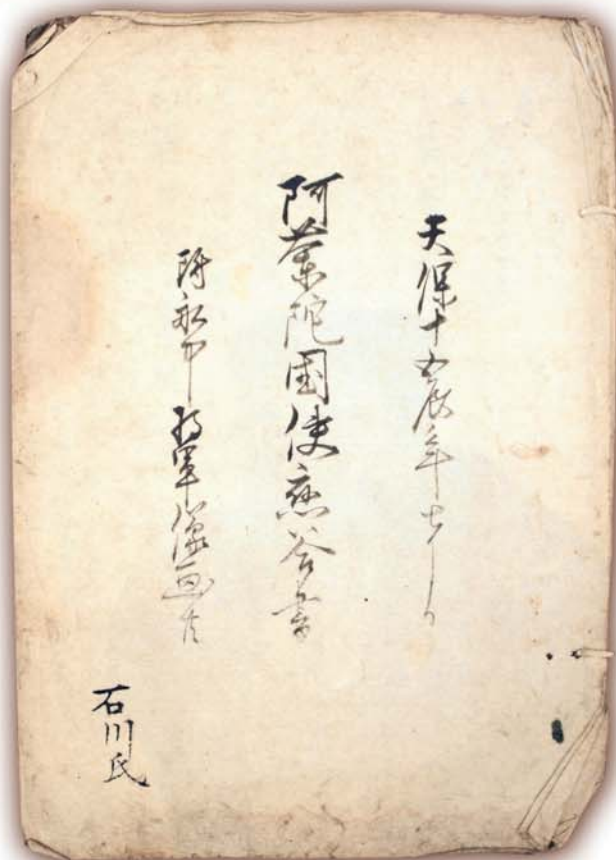




一丁表



表紙

『阿蘭陀国使応答書 附船中將軍像画共』天保15年7月（石井良助文庫所蔵）

目次

図書館の匂い（石塚 久郎）	2
シリーズ ムーサの神殿 資料紹介 石井良助文庫（高木 侃）	3
もっと知りたい！ベルンシュタイン文庫	4～5
特別展「フランス革命下の民衆と自由・平等」報告	4
ベルンシュタイン文庫整理状況	5
絵本から始めれば、洋書がスラスラ読めるようになる！	6
図書館実習を終えて	7
徳島城博物館 特別展 「蜂須賀家の名宝と大名美術の世界」報告	7
図書館インフォメーション	8

臨時開館

年末年始にも開館します

- 対象館
本館（4階AVプラザを除く）
神田分館
- 開館日
平成19年12月9日（日）・16日（日）・
23日（日）・24日（月）・25日（火）
平成20年1月6日（日）・13日（日）・
14日（月）
- 開館時間 10時～17時
*法科大学院分館については、図書館
ホームページをご覧ください。

図書館の匂い



石塚 久郎

この夏、7年振りにイギリスを訪れた。学会発表があったからだ。そんなことでもない限り、出不精の私が重い腰をあげ、怖い飛行機に12時間近くも乗れるはずがない。せっかく行くのだから、図書館でリサーチしない手はない。ということで、いつもの場所に向かった。そう、世界に名だたる大英図書館（ブリティッシュ・ライブラリー）である。

実は、図書館に行く前からちょっとした懸念があった。通常、夏のブリティッシュ・ライブラリーは世界中から来る学者で非常に混雑する。私の懸念はいつもの混雑ではなく、むしろ逆の現象が起こっているのではないか、ということだった。この数年書物の急速な電子化で、図書館に行かなくてもある程度はリサーチ可能な状況になった。それ故、ブリティッシュ・ライブラリーといえどもその荒波に逆らえないのではという思いがあったのだ。

予想は外れた。図書館は相変わらず、本を求める人、人で溢れていた。特に1850年以降の書物を提供するヒューマニティーズの区画は予想よりも混雑していた。反対に、1850年以前の稀少本を扱うレア・ブック・ルームは、若干人の入りが減っていた。17世紀から18世紀の書物が電子化され、遠く離れた日本でも読めるようになったのがその要因であることは明らかだ。自宅でも読めてしまえるのに、どうしてわざわざ海外の図書館まで足を運ぶ必要があるのか。第一金がかかる。時間もかかる。しかし、

それでも人は図書館で本を読む。ブリティッシュ・ライブラリーの名物オブジェとなっている、重厚な鉛の玉に繋がれた巨大な本のベンチは、図書館で本を読まざるを得ない人たちの隠喩ということだろうか。

90年代をイギリスで過ごした私にとって、大英博物館内にあった旧ブリティッシュ・ライブラリーの方に思い入れがある。イギリスらしいオープンな大閲覧室のつくり。巨大なカタログとそれを手に取る時の重圧感。稀少本を読むためのノース・ライブラリーの薄暗さ。何百万冊の中から選び出された本との邂逅。ただ本をめくるだけで見出される思わぬ発見と偶然の着想。手にした本の手触りと、今にも壊れそうな脆さ。そして、今自分が手にしなければ決して読まれることはなかったであろうという一人よがりの愉悦。こうした図書館の匂いと魅力は、デジタル化・コンピュータ化された新しい図書館から消えつつある。

図書館独特の匂いもそこでしか読めないというありがたみも消えつつある図書館に何が残るのか。ただの巨大な知の収蔵所として生き続けるのか、それとも、また別の匂いを醸し出すのだろうか。この夏のブリティッシュ・ライブラリーの混雑を見れば、図書館はまだかつての魔力を堅持しているかに見える。しかし、あらゆるカリスマはいずれ地に落ちるとすれば、人々は魔法を解かれた後に何をすべきなのか、考える時期に来ている。

(いしづか ひさお：文学部准教授)

ムーサの神殿:

ムーサ(ミューズ)とは、ギリシャ神話で学問や芸術などあらゆる知的活動を司る9人の女神たちのことです。「ムーサの神殿(ムーセイオン)」は、美術館、博物館、図書館を表しており、ミュージアムの語源となっています。

古代エジプトの首都アレクサンドリアにつくられた総合学術機関「ムーセイオン」は、これに由来しており、その付属図書館が世界最古の図書館といわれています。

石井良助文庫

石井良助文庫とは、元本学教授で、図書館長も勤められた石井良助先生(1907-1993)の所蔵された文書と図書を1980年から数次にわたって本学が受け入れ、文庫としたものである。文庫の中心をなすものは、40点余の中世文書を含む4,831点を数える文書である。多くは近世の村方文書で、相模・武蔵・常陸国など関東地方をはじめ、出羽国から播磨国にいたる全国各地にわたる。武家関連文書のなかには、オランダ将軍の彩色画なども描かれた「阿蘭陀国使応答書」や「異船滞船中取斗方廉書」などの幕末外交関係文書もある。すでに1996年11月『石井良助文庫目録一文書編一』が作成され、活用が期待されるが、一部は石井先生が整理された状態(一村の文書を一緒にして括る)で、利用に不便をきたすものもある。図書は1,142点(洋装本が主であるが和本も含む)に及び、現在は法科大学院分館に配架されている。

ところで、石井先生の上記以外の所蔵文書等は、石井コレクションとして江戸東京博物館の所蔵になった。総数量は13,911件(文書類10,901・典籍3,010)にのぼる。閲覧はマイクロフィルムで行うことが原則で、その仮目録は5冊まで刊行されている。石井良助文庫と合わせて、わが国有数の法制史料の一つである石井先生の蒐集資料の全容が明らかになる。

石井先生はわが国法制史学の泰斗で、長く法制史学会の代表理事をなさり、東大退官後、新潟大をへ

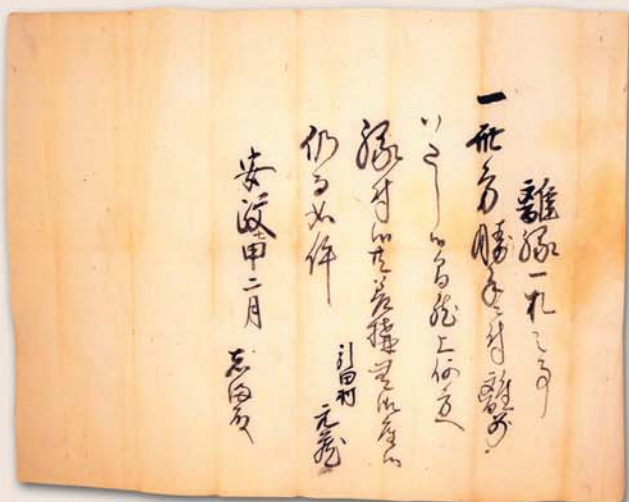


高木 侃

て、本学教授に就任し、日本法制史を担当された。図書館長のほか、法学研究所長として学究のあるべき姿を示された。また、先生は学者という言葉より研究者という言葉がお好きであった。全10巻に及ぶ著作集『法制史論集』(創文社、1972-1986)が代表的なものであるが、東大の『国家学会雑誌』の50周年と100周年記念号の両方に、つまり50年を隔てて論稿を掲載することができたのは先生だけであり、このことは先生ご自慢の一つであった。なお、1990年にはその功績により文化勲章を受章された。

私事にわたるが、門下生として、先生の学説に全面的な反論を加えた『三くだり半-江戸の離婚と女性たち-』(平凡社、1987)を献呈し、その学恩にいささかなりと報いることができたと思っている。なお、文庫中に離縁状が二通あり、その一通の写真を掲げた。

(たかぎ ただし：法学部教授)



『離婚状(元蔵よりしま宛 安政7年2月)』



『石井良助文庫目録一文書編一』

もっと知りたい!

ベルンシュタイン文庫

専修大学が誇るフランス革命関係のコレクションを知っていますか？

Q

ミシェル・ベルンシュタイン文庫ってなに？

A 本学が創立100年記念事業の一つとして購入したフランス革命関係文献・史料の一大コレクションです。

この分野のコレクションとしては、世界でもフランス国立図書館に次ぐものだとされています。文庫の名前は収集者のミシェル・ベルンシュタイン氏（1906-2003）に由来しています。



ミシェル・ベルンシュタイン氏

Q

ミシェル・ベルンシュタイン氏って、どんな人？

A 父親の影響で、フランス革命史の文献を集めはじめ、約40年の歳月をかけて収集しました。

1906年フランスのリヨン生まれ。両親は帝政ロシアで革命運動を行ってフランスに亡命したロシア人です。父親のレオン・ベルンシュタインはロシア革命史からヨーロッパ革命運動史、最後にフランス革命史文献の収集を行ないました。ミシェルは父親の影響で早くからフランス革命に関心があり、1920年代からフランス革命期の史料を集めはじめました。商船会社を退職後は古書籍商となり、フランス革命期のパンフレットと逐次刊行物を中心とした史料の収集を続けました。

Q

コレクションにはどんなものがあるのですか？

A パンフレット、新聞、議事録、法令集やポスター、紙幣、石鹸の配給券、陳情書の原本などがあります。

印刷刊行物では、パンフレット、新聞などの逐次刊行物、革命諸議会の議事録および法令集、ポスター類、紙幣、身分証明書、革命裁判所の判決書、風刺画や革命の様子を今に伝える銅版画集などがあります。手稿史料（手書きの史料）としては、1789年の全国三部会に提出するために作成された陳情書の原本や植民地に関する報告書などがあります。また、ベルンシュタイン氏がこの文庫の収集にあたって利用した書誌類や研究書、研究論文などもコレクションの一部を構成しています。

特別展「フランス革命下の民衆と自由・平等」報告

期間：2007年10月25日（木）～30日（火）
場所：紀伊國屋書店（新宿本店）紀伊國屋画廊

「ベルンシュタイン文庫」の展示は、学内では何度か開催してきました。今回は大学の130年記念事業としてとらえ、広く一般の方々にこの大コレクションを紹介し、フランス革命という歴史上の大きなうねりの中から様々な人間の考え方、生き方をリアルに感じとっていただければと企画しました。

展示史料は、ルイ16世の遺言書、マリー＝アントワネットの死刑判決書、人権宣言をはじめ、全国三部会開催に向けて作成された陳情書、手彩色の風刺画を含む約50点余りです。期間中、歴史を専門とする方から、中学校の歴史授業で強烈な印象を受けたという方、興味を持つ小学生まで、6日間で約660名の方が鑑賞しました。

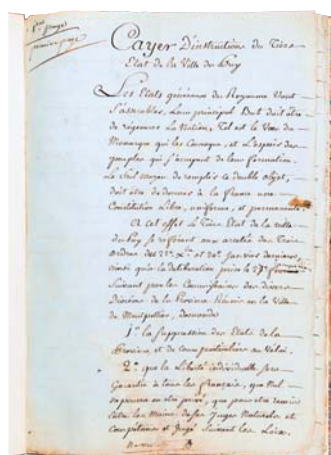
特別展に伴い、25日（木）には本学社会知性開発研究センターによる公開シンポジウムが、紀伊國屋書店（新宿南店7階）サザンシアターで行なわれ、約400名の聴衆から熱い拍手が送られました。



Q フランス革命期のパンフレットってなに？

A 当時の革命家、知識人、ジャーナリストなどが、自分達の思想を広めるために発行しました。

革命期は時事刻々と情勢が変化する時代だったので、自分の主義主張などを、より多くの人々に早く知らせることが必要でした。そのため革命家・知識人・ジャーナリストなどによるおびただしい量のパンフレット（小冊子）が刊行されました。それらは、製本もされず、あたかも「ちらし」のように取り扱われました。



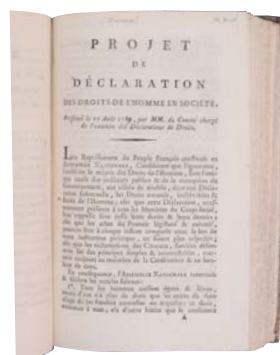
『ル・ピュイの第三身分陳情書』
1789.3.28付
[Bernstein Fol. 20]

Q ベルンシュタイン文庫を閲覧することはできますか？

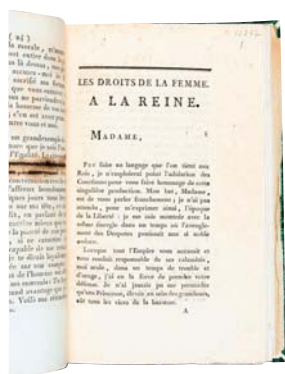
A ベルンシュタイン文庫のほとんどは、マイクロフィルムで利用することができます。

逐次刊行物、新聞、年報類の一部史料を除き90%以上がマイクロフィルム化されていますので、本館4階AVプラザ内で閲覧することができます。また、オリジナル資料を調査・研究のために利用したい場合は、事前の申し込みが必要です。

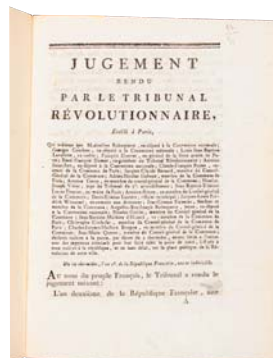
どのような史料があるのか調べるには、冊子体の目録「Catalogue de l'histoire de la Révolution française」(R/235.06/B41 本館・生田分館・神田分館)やOPACで調べることができます。



『ミラボール等がまとめた人権宣言草案』
(国民議会議事録) 1789
[Bernstein Tome 1003.19]



オランプ＝ド＝グージュ
『女性の諸権利』[1791]
[Bernstein Tome 1517.7]



『ロベスピエール、サン＝ジュスト等に対する革命裁判所の死刑判決書。共和国暦第2年テルミドール10日』
[1794]
[Bernstein Tome 135]

ベルンシュタイン文庫整理状況 2007年10月末現在

図書館では、ベルンシュタイン文庫の目録を、OPACに公開する作業を進めています。コレクションのうち、逐次刊行物と手稿史料（手書きの史料）を除いた約43,000点の整理が終了し、OPACに公開されています。これは逐次刊行物を除いたコレクション全体数（約47,000点）の約90%に当たります。

逐次刊行物（約1,500タイトル＝約10万号）については、本年度11月から来年度にかけて整理を行ない、OPACに公開していきます。

今後は、整理されたデータを用いて冊子体目録を刊行し利用者の調査・研究に供すること、および史料のデジタル化やマイクロ版の再編集などもしていく予定です。

絵本から始めれば、 洋書がスラスラ 読めるようになる!

本館4F文庫・新書判図書の一部に「英文多読用図書」が入りました。これを機会に、あなたも、洋書を読んでみませんか？

英語をたくさん読む

簡単な英語の本から読みはじめ、少しずつレベルを上げながら英文をたくさん読んでいく「英語多読法」という学習方法があります。この方法で100万語ほど読めば、ハリリー・ポッターなどのかなり本格的な洋書が読めるようになるはず。1分間に100語の速さで、毎日30分ずつ読んだとすると、約1年間で達成することができます。1日30分なら、無理なく続けられると思いませんか？

楽しく続けるための3原則

- 1 辞書は引かない
- 2 わからないところは飛ばす
- 3 つまらなくなったらやめる



楽しく続けるためには、辞書を使わないで読める本を選ぶのがコツです。また、選んだ本が、「辞書なしではちょっと難しいかも」と感じたら、読むのをやめて、簡単な本に変えてもよいのです。

超初級の絵本から揃えてあります

図書館には、どんなに英語が苦手な人でも、必ず楽しめる超初級の絵本から取り揃えてあります。どんなレベルからでも、すぐに多読をスタートすることができますので、ぜひ、図書館の本を利用して挑戦してみてください。

参考文献：『今日から読みます英語100万語！』古川昭夫 河手真理子著 日本実業出版社 2003.4 (J/830/F93 生田分館・神田分館)



「英語多読法」に挑戦中!

文学部1年 東城綾花さん
読んだ語数 7万3千語



お薦めの本は何ですか？

Frog and Toad シリーズです。絵がすごくかわいく、お話もとってもかわいいですよ。A *Christmas Carol* もお薦めです。有名なお話を英語で読むことができ、嬉しくなりました。

多読を始めて、英語に対して今までと何か変わりましたか？

多読を始める前は、英語を勉強としてとらえていたので、TOEICの問題などで長文を見ると構えていましたが、最近は長文の英語を見ても構えなくなってきました。3原則のおかげで、英文を読むことを、怖がることなく、楽しめるようになりました。

これからどんな風に多読に挑戦していきたいですか？

とりあえず、100万語を達成したいのですが、100万語達成後も、自分から進んで本屋さんで洋書を買って行って読むような感じになりたいです。

文学部1年 福岡賢哲さん
読んだ語数 41万語



お薦めの本は何ですか？

Charlie and the Chocolate Factory です。現実ではとても考えられない世界の話で、面白かったです。読み終わった後に映画を見ると「あー、こんなこと言っていたのか」と感じられます。

辞書を引くことはありますか？

読み終わった後に、よっぽど気になった単語とか、何回も出てきたけど「これわからないな」というのは時々引いたりします。でも、読んでいる間は引きません。それが原則だし、引いちゃうと話が途切れちゃうので。一番の目的は、英語を楽しむということだと思うので、そのためにも3原則は守っています。

これからどんな風に多読に挑戦していきたいですか？

一つの目安として、今年度中には、100万語を達成したいです。最終的には、アメリカの文化について研究したいと考えているので、関連の専門書を英語で読めるようになりたいです。

図書館実習を終えて

司書課程を履修している学生のうち、4名が本学図書館で10月に実習を行いました。実習生の中から2名の方に実習を通しての感想を寄せてもらいました。



法学部4年 隅田 瑛里可

大学1年生の頃から図書館司書の資格を取得するために勉強を始めて、今回専修大学図書館での実習を経験しました。今まで、閲覧やレファレンスをメインの業務に考えていましたが、本が棚に配架されるまでの過程を実際に経験することで図書館全体の動きを理解できるようになりました。

図書館の業務で一番大切なことは、全ての利用者に快適に図書館を利用してもらえよう努めることだと改めて感じました。そういった場を提供するために、図書館はたくさんの工夫や気配りをしているということが分かりました。

この実習を通して、図書館司書として将来は働きたいという気持ちが非常に強くなりました。社会に出て生かせる経験になったと感じています。

法学部4年 林 磨依子

全10日間の実習を終えて分かったのは、たくさんのスタッフの力、そしてそのスタッフそれぞれの利用者に対する思いによって図書館が成り立っているということです。

本が棚に並んでいる、それは利用者の私にとって当たり前のことでした。でも、当たり前であって当たり前ではなかったのです。

“利用者に少しでも早く提供できるように”というスタッフみなさんの思い。こうして私たちが必要な本をいつでも手に取ることが出来るのは、本をきちんと管理してくれている図書館で働く全てのスタッフのお陰だということをもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。

徳島城博物館 特別展「蜂須賀家の名宝と大名美術の世界」報告

本年7月20日（金）から8月26日（日）まで、徳島市立徳島城博物館にて、平成19年度夏の特別展「蜂須賀家の名宝と大名美術の世界」が開催されました。

この特別展には、前号でお知らせしたように、本学図書館所蔵「蜂須賀家旧蔵本」21種（129冊）が出品されました。藤原俊成（1114-1204）の歌集を書写した「長秋詠藻」（藤原爲世筆写 1296）など重要文化財に指定されている貴重な写本をはじめ、ほかにも美しい装飾料紙、文字や文様など、美しさにおいても美術品といえるような古典籍が紹介されました。また本学図書館所蔵「蜂須賀家旧蔵本」のなかには、阿波国文庫の蔵書印が押されているものが含まれています。阿波国文庫は阿波国藩主蜂須賀家が、長期にわたり収集した和漢典籍と、柴野栗山（1736-1807）の蔵書および屋代弘賢（1758-1841）の「不忍文庫」が、それぞれ没後に献納されたものを合わせて構成されています。

本学図書館所蔵のものは徳島と江戸藩邸に分けて保管されていた和漢典籍のうち、江戸藩邸の貴重書の一部と伝えられています。これらの文庫に押されている蔵書印は長方形の枠の中に「阿波国文庫」

と楷書で書かれていて、枠は二重枠と一重枠のものがあります。蔵書印はその書籍の伝来を証する履歴書であり、阿波国文庫の蔵書印は本学図書館所蔵「蜂須賀家旧蔵本」が全国有数の大名文庫の一部である証といえます。



徳島市立徳島城博物館

その他の展示

●特別展示

「フランス革命の授業に役立つベルンシュタイン史料コレクション」
10月6日（土）、8日（月）～12日（金）本館 研修室

●特別展

「古典籍への誘い—蜂須賀家旧蔵本を中心に—」
「育友会寄贈貴重資料」
11月3日（土）～8日（木）本館 研修室

図書館 インフォメーション

〈図書館カレンダー〉

12 月							1 月							2 月							3 月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5						1	2							1
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29		23	24	25	26	27	28	29
30	31																			30	31						

開館時間：無印 本館・生田分館 月～金 9：00～21：00（土曜日は19：00）
 神田分館・分室 月～土 9：00～22：00
 ★印 本館・生田分館 月～金 9：00～17：00（土曜日は12：00）
 神田分館 月～土 9：00～20：00
 神田7号館分室 月～金 9：00～19：30（土曜日は14：30）
 ◎印 本館・神田分館 10：00～17：00（生田分館・神田7号館分室休み）
 休館日：全館休館 A 本館・生田分館休み B 神田分館・分室休み
 ＊開館時間の変更および臨時の開館日・休館日は、その都度ホームページや掲示で案内します。
 ＊法科大学院分館の開館情報については、図書館ホームページをご覧ください。

臨時開館します。
 12月9日、16日、23日、24日、25日
 1月6日、13日、14日

〈お知らせ〉

■教員推薦図書の出借停止

学部後期試験にともない学部学生対象教員推薦図書(生田分館・神田分館)の出借を停止します。館内で利用してください。

停止期間：平成19年12月1日(土)～平成20年1月31日(木)

■冬期・春期特別貸出

	冬 期	春 期
取扱期間	平成19年12月3日(月)～12月21日(金)	平成20年1月23日(水)～3月18日(火)
対象者	学部学生 聴講生、科目等履修生を含む	学部学生 聴講生、科目等履修生を除く
冊 数	10冊まで(通常の貸出冊数と同じ)	
返却期限日	平成20年1月11日(金)	平成20年4月7日(月)

■卒業・大学院修了年次生の皆さんへ

卒業・大学院修了年次生の返却期限日は次のとおりです。

返却期限日：平成20年3月3日(月)

毎年、図書を借りたまま卒業する利用者に在校生が大変困っています。図書館から借りている本を返却し忘れないか、確認をお願いします。返却は、郵送でも受け付けます。紛失、問合せ等はカウンターまで。

卒業後も図書館を利用できます。

卒業後も図書館を利用することができます。年間利用を希望する場合は、図書館利用カードを発行しますので、生田または神田のカウンターで手続きをしてください。館外貸出は5冊、20日間まで。手続き時には本人確認できるもの(運転免許証など)をお持ちください。

■神田分館展示

「大学周辺散歩」

期間：平成19年11月1日(木)～12月25日(火)
 場所：神田分館展示コーナー

専修大学神田校舎周辺、特に世界最大の本屋街といわれる神保町を中心に、時代・年代を問わず、古書店・文化人縁の場所・名所旧跡を地図と共に紹介します。専修大学周辺にはどのような歴史があり、どんな人に縁があるのか、毎日通っている街を発掘しに出かけましょう!



■証紙券売機設置



10月から図書館本館3階と神田分館のカウンター前に証紙券売機が設置されました。他の図書館から文献を取り寄せた時の料金支払いなどが、その場でできるようになりました。

図書館では、利用者の個人情報をも本人の同意なく第三者に提供する事はありません。

専修大学図書館だより 第63号

発行日：2007年12月1日
 編集・発行：専修大学図書館（館長 大庭 健）
 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1 〒214-8580
 Tel.044-911-1274 URL：http://www.lib.senshu-u.ac.jp/